

全国各地の  
当事者・支援者などであい、  
経験をつなぐ  
全国シンポジウム

札幌 仙台  
広島 兵庫  
名古屋 新潟  
京都 沖縄  
福岡 東京  
岡山

# 何万回も死のうと思った そして 何万回も生きようと思った

## 性暴力の根絶に向けて 全国縦断シンポジウム

目をそらさずに  
私たちに求められる課題

成人女性の14人に1人が強かんなどの性暴力被害にあい、3人に1人がDV被害に苦しみ、20人に1人が暴力による生命の危険にさらされ、3日に1人ずつ妻が夫の手にかかって殺され続けている社会。

ものもいぬ乳幼児の頃から家の中で実父による性虐待を受け続け、家出や自傷行為を繰り返しながら性的商品市場に身を投げ出さざるを得ない子どもたちの存在。

260万件ともいわれる性暴力犯罪が発生しているにもかかわらず、強かん被害を訴えることのできた当事者は2008年で1582人。圧倒的多数の被害当事者が、困難を抱えたまま人生そのものを奪われています。

後遺症に苦しみながら、仕事を失い、人間関係が崩壊し、地域で暮らすこともできず、さらなる暴力被害に見舞われる人々の存在を、この社会は理不尽にも放置し続けてきました。

性暴力被害者の回復支援システムは依然として貧弱なままです。しかし、困難を抱える女性や子どもたちとともに道を拓けてきた人々の経験も、全国各地に粘り強く蓄積されてきました。

「性暴力禁止法をつくろうネットワーク」は、2008年5月発足以来2年半の活動を基礎に、運動の可視化・全国化をはかるための全国縦断シンポジウムを開始します。札幌シンポジウムを皮切りに、全国各地の当事者・支援者などであい、経験をつなぎ、この運動に力とはずみをつけたいと願っています。この取り組みは、性差別と暴力を容認してきた社会の構造を創り変えようとする人々の志によってつながられています。

### JAPAN TOUR

全国縦断シンポジウムは、  
以下の地域での開催を予定しています。

2010年9月～2012年9月

札幌	仙台
広島	兵庫
名古屋	新潟
京都	沖縄
福岡	東京
岡山	